

第156回 日商簿記検定試験 3級 一商業簿記一 解説

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

第1問 仕訳問題

1. 建物の改良・修繕に伴う支出額のうち、建物の価値を高める資本的支出は「建物（資産）」で処理し、機能維持のための支出は「修繕費（費用）」で処理する。

(借) 建物	5,500,000	(貸) 当座預金	8,000,000
(〃) 修繕費	2,500,000		

2. 「売上（収益）」は貸方残高であるため、「損益（集合勘定）」勘定の貸方に振替える。

(借) 売上	50,000,000	(貸) 損益	50,000,000
--------	------------	--------	------------

3. 銀行から借り入れると同時に同額の約束手形を振り出しているため、「手形借入金（負債）」で処理し、差し引かれた利息は「支払利息（費用）」で処理する。

(借) 支払利息	80,000	(貸) 手形借入金	5,000,000
(〃) 当座預金	4,920,000		

4. オフィスビルの家賃は「支払家賃（費用）」、敷金2か月分は「差入保証金（資産）」、仲介手数料は「支払手数料（費用）」で処理する。

(借) 支払家賃	200,000	(貸) 現金	800,000
(〃) 差入保証金	400,000		
(〃) 支払手数料	200,000		

5. 従業員が立替払いしている宿泊費等は「旅費交通費（費用）」で処理し、当該金額を月末に精算するため「未払金（負債）」として計上する。

(借) 旅費交通費	11,800	(貸) 未払金	11,800
-----------	--------	---------	--------

第2問

設立年からの繰越利益剰余金勘定、および勘定記入に必要な仕訳は下記のとおりである。

1. X2年4月1日からX3年3月31日

- (1) 決算振替仕訳 (X3年3月31日)

(借) 損益	2,000,000	(貸) 繰越利益剰余金	2,000,000
--------	-----------	-------------	-----------

- (2) 勘定記入

繰越利益剰余金			
3/31 次期繰越	2,000,000	3/31 損益	2,000,000

2. X3年4月1日からX4年3月31日

- (1) 決算振替仕訳 (X4年3月31日) ※第1問解答

(借) 繰越利益剰余金	350,000	(貸) 損益	350,000
-------------	---------	--------	---------

- (2) 勘定記入

繰越利益剰余金			
3/31 損益	350,000	4/1 前期繰越	2,000,000
〃 次期繰越	1,650,000		
	2,000,000		2,000,000

3. X4年4月1日からX5年3月31日

(1) 仕訳

① 期中仕訳・配当の決議 (X4年6月25日)

(借) 繰越利益剰余金	110,000	(貸) 未払配当金	100,000
		(〃) 利益準備金	10,000

② 期中仕訳・配当の支払 (X4年6月28日)

(借) 未払配当金	100,000	(貸) 普通預金	100,000
-----------	---------	----------	---------

③ 決算振替仕訳 (X5年3月31日)

(借) 損益	1,600,000	(貸) 繰越利益剰余金	1,600,000
--------	-----------	-------------	-----------

(2) 勘定記入 ※第2問解答

繰越利益剰余金				
6/25	未払配当金	100,000	4/1 前期繰越	1,650,000
〃	利益準備金	10,000	3/31 損益	1,600,000
3/31	次期繰越	3,140,000		
		<u>3,250,000</u>		<u>3,250,000</u>

第3問 残高試算表の作成

(1) X8年5月26日の合計試算表に(2) X8年5月27日から31日までの諸取引を加えることにより、X8年5月31日の合計試算表を作成する。以下、(2) X8年5月27日から31日までの諸取引を仕訳で示す。

27日	(借) 前受金	30,000	(貸) 売上	80,000
	(〃) 売掛金(奈良商店)	50,000		
	(借) 発送費	1,000	(貸) 現金	1,000
	(借) 売掛金(和歌山商店)	50,000	(貸) 売上	50,000
	(借) 発送費	800	(貸) 現金	800
	(借) 給料	500,000	(貸) 所得税預り金	40,000
			(〃) 当座預金	460,000

28日	(借) 仕入	60,500	(貸) 買掛金(長崎商店)	60,000
			(〃) 現金	500
	(借) 仕入	40,000	(貸) 買掛金(高知商店)	40,000
	(借) 水道光熱費	25,000	(貸) 当座預金	25,000
	(借) 現金	90,000	(貸) 当座預金	90,000

29日	(借) 売掛金(奈良商店)	70,000	(貸) 売上	70,000
	(借) 発送費	1,200	(貸) 現金	1,200
	(借) 前受金	20,000	(貸) 売上	55,000
	(〃) 売掛金(和歌山商店)	35,000		
	(借) 発送費	1,000	(貸) 現金	1,000
	(借) 買掛金(高知商店)	40,000	(貸) 仕入	40,000

30日	(借) 仕 入	38,700	(貸) 買掛金(長崎商店)	38,000
			(〃) 現 金	700
	(借) 仕 入	40,000	(貸) 買掛金(高知商店)	40,000

31日	(借) 水 道 光 熱 費	80,000	(貸) 当 座 預 金	80,000
	(借) 当 座 預 金	240,000	(貸) 売掛金(奈良商店)	240,000
	(借) 当 座 預 金	130,000	(貸) 売掛金(和歌山商店)	130,000
	(借) 買掛金(長崎商店)	190,000	(貸) 当 座 預 金	190,000
	(借) 買掛金(高知商店)	300,000	(貸) 当 座 預 金	300,000
	(借) 当 座 預 金	60,000	(貸) 前 受 金	60,000

※1 売掛金明細表

奈良商店：¥500,000 + ¥50,000 (27日) + ¥70,000 (29日) - ¥240,000 (31日) = ¥380,000

和歌山商店：¥200,000 + ¥50,000 (27日) + ¥35,000 (28日) - ¥130,000 (31日) = ¥155,000

※2 買掛金明細表

長崎商店：¥310,000 + ¥60,000 (28日) + ¥38,000 (30日) - ¥190,000 (31日) = ¥218,000

高知商店：¥590,000 + ¥40,000 (28日) - ¥40,000 (29日) + ¥40,000 (30日)

- ¥300,000 (31日) = ¥330,000

第4問

問1 補助簿の選択

1日～16日における各仕訳と補助簿は次のとおりである。

1日	(借) 備 品	900,000	(貸) 当 座 預 金	900,000
	固定資産台帳		当座預金出納帳	

※ 資産の取得原価は購入代価に付随費用を加算した金額となる。

10日	(借) 仕 入	350,000	(貸) 前 払 金	50,000
	仕入帳 + 商品有高帳		(〃) 買 掛 金	300,000
			買掛金元帳	

16日	(借) 現 金	90,000	(貸) 売 掛 金	90,000
	現金出納帳		売掛金元帳	

問2 伝票の起票

28日	(借) 売 掛 金	800,000	(貸) 売 上	800,000
	売掛金元帳		売上帳 + 商品有高帳	
	(借) 現 金	50,000	(貸) 売 掛 金	50,000
	現金出納帳		売掛金元帳	

※ 入金伝票の科目欄に「売掛金」とすでに記載されているため、いったん全額を「売上」として処理し、代金の一部について回収したものとして考えるため上記の仕訳となる。

問3 減価償却費の金額

31日	(借) 減 価 償 却 費	15,000	(貸) 減 価 償 却 累 計 額	15,000
				固定資産台帳

※ $¥900,000 \div 5 \text{年 (耐用年数)} \div 12 \text{か月} = ¥15,000$

第5問 決算整理後残高試算表の作成

決算整理仕訳は以下のとおりである (決算整理前残高試算表を「前T/B」と省略する)。

1. 仮受金の判明

(借) 仮 受 金	35,000	(貸) 償 却 債 権 取 立 益	35,000
-----------	--------	-------------------	--------

2. 発送費の計上

(借) 発 送 費	10,000	(貸) 未 払 金	10,000
-----------	--------	-----------	--------

◆ 発送費： $¥135,000$ (前T/B発送費) + $¥10,000 = ¥145,000$

3. 貸倒引当金の計上

(借) 貸 倒 引 当 金 繰 入	12,350	(貸) 貸 倒 引 当 金	12,350
-------------------	--------	---------------	--------

※ $¥6,435,000$ (前T/B売掛金) $\times 1\% - ¥52,000$ (前T/B貸倒引当金) = $¥12,350$

◆ 貸倒引当金： $¥52,000$ (前T/B貸倒引当金) + $¥12,350 = ¥64,350$

4. 売上原価の算定

(借) 仕 入	1,800,000	(貸) 繰 越 商 品	1,800,000
(借) 繰 越 商 品	1,765,000	(貸) 仕 入	1,765,000

◆ 仕入： $¥1,800,000$ (前T/B繰越商品) + $¥24,750,000$ (前T/B仕入)

$- ¥1,765,000$ (期末商品棚卸高) = $¥24,785,000$

5. 減価償却

(借) 減 価 償 却 費	450,000	(貸) 備 品 減 価 償 却 累 計 額	450,000
---------------	---------	-----------------------	---------

※ $¥4,500,000$ (前T/B備品) $\div 10 \text{年} = ¥450,000$

◆ 備品減価償却累計額： $¥1,350,000$ (前T/B備品減価償却累計額) + $¥450,000 = ¥1,800,000$

6. 消費税の整理

(借) 仮 受 消 費 税	4,128,000	(貸) 仮 払 消 費 税	2,475,000
		(〃) 未 払 消 費 税	1,653,000

※ 未払消費税： $¥4,128,000$ (前T/B仮受消費税) - $¥2,475,000$ (前T/B仮払消費税) = $¥1,653,000$

7. 貸付金について

(借) 受 取 利 息	60,000	(貸) 前 受 利 息	60,000
-------------	--------	-------------	--------

※ $¥3,000,000$ (前T/B貸付金) $\times 3\% \times 8 \text{か月 (X8年4月~11月)} / 12 \text{か月} = ¥60,000$

◆ 受取利息： $¥90,000$ (前T/B受取利息) - $¥60,000 = ¥30,000$

8. 仮払金について

(借) 前 払 家 賃	400,000	(貸) 仮 払 金	400,000
-------------	---------	-----------	---------

9. 法人税等の計上

(借) 法 人 税 等	850,000	(貸) 仮 払 法 人 税 等	650,000
		(〃) 未 払 法 人 税 等	200,000

※ 未払法人税等： $¥850,000 - ¥650,000$ (前T/B仮払法人税等) = $¥200,000$

10. 損益勘定による当期純損益の計算 (問2)

		損		益		
3/31	仕 入	24,785,000		3/31	売 上	41,280,000
"	発 送 費	145,000		"	受 取 利 息	30,000
"	支 払 家 賃	2,400,000		"	償 却 債 権 取 立 益	35,000
"	租 税 公 課	350,000				
"	貸倒引当金繰入	12,350				
"	減 価 償 却 費	450,000				
"	そ の 他 の 費 用	11,025,000				
"	法 人 税 等	850,000				
"	繰越利益剰余金	1,327,650				
		<u>41,345,000</u>				<u>41,345,000</u>